

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Rosele Association CLUB V			公表日		令和 7年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		運営基準に沿って、適切な活動スペースを確保している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		運営基準に沿って職員を配置している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		訓練室、学習室、静養室など活動に合わせて構造化した環境を整えている	バリアフリー化はされていないため、階段の段差を改善していくことを検討する		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		支援終了後に、清掃を行なっている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気持ちが落ち着かない時や、個別に相談できるように環境を整えている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員で、個別支援会議や社内実地などにより、課題や振り返りを行い、業務の改善に努めている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の評価表を職員で確認し、業務改善に向けてミーティングをしている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝礼や個別支援会議で、意見を出し合い、業務の改善に努めている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	法人グループ内で社内実地指導を行い、他の事業所から書類のチェックやアドバイスを受けている	外部評価の代替として、集団指導などに参加し、職員に伝達している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		虐待防止などの外部研修を受講している。法人内で委員会を設置し、研修を行なっている（支援向上、感染・虐待防止、安全）			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		法人と事業所で、支援プログラムを作成し、ホームページで公表している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		子供や保護者と定期的に面談を行い、ニーズや課題に基づいた計画を作成している			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画を作成する際は、支援に関わる職員が個別支援会議に参加し、多様な意見を出し合って支援内容を検討している			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援会議で計画書を職員に共有し、朝礼で活動についてミーティングをしている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		サポートノートえいぶるを活用してアセスメントを行なっている			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		子供や保護者と定期的に面談を行い、ニーズや課題やライフステージに基づいて、「本人支援、家族支援、移行支援、地域支援」などの項目を設定して計画を作成している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		朝礼や個別支援会議で、一人一人の課題にあった活動をプログラムを検討している			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	月の初めに、曜日ごとの活動と担当者を計画して支援している。また、月毎に活動を変えて取り組んでいる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	個別支援会議で、児童のニーズや課題に合わせて、個別の自立活動や集団での運動やレク活動などを計画に組み込んでいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	朝礼で、その日の活動内容や、リーダーと補助の役割分担を確認して支援している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	支援終了後は送迎のため振り返りの時間が取れないため、翌日の朝礼で支援の振り返りを行なっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	その日のうちに活動日誌を書いて、支援の共有や見直しに繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	定期的に保護者とモニタリングを行い、目標の達成度やニーズの確認し、計画の見直しを行なっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	児童のニーズや課題に合わせて、活動を組み合わせ支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	活動では、子供たちが活動の目標や順番、チーム編成を決める機会を作っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	児童発達支援管理責任者の他に、支援に関わる児童指導員などが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	協力医療機関と連携して医療体制を整え、必要に応じて、学校や障害福祉サービス事業所等と連携をし、担当者会議をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	送迎時に担任の先生と連絡事項の確認を行い、また、学校の連絡アプリで年間行事や下校時間の変更を確認している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	相談事業所や担当者会議で、情報を共有している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	相談事業所や担当者会議で、情報を共有している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	療育医療センターなどの外部研修を受講し、職員に伝達研修を行なっている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	公園活動などで地域の子どもとの交流をしている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	自立支援協議会や基幹相談支援センターが主催する研修に参加している（うるま市にごキッズ）	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	送迎時にその日の活動の様子を伝えるようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		家族向けの研修はないが、家族より相談がある場合は、その都度アドバイスを行なっている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時に、利用契約書や重要事項説明書などの内容を説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	契約時や定期的なモニタリングにより、子供や家族のニーズを確認して、支援計画書を作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	契約時や支援の見直し時には、計画書を保護者に説明した上で、同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者より相談がある場合には、その都度アドバイスを行い、必要な場合は相談員にも情報を共有している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者や兄弟同士の交流ができるように、音楽祭やスポーツフェスティバルを行なっている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった時には管理者に報告し、組織として適切に対応する体制が整っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月に一度、お便りを作成し、活動の様子を保護者に伝えている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		受給者証や契約書などの個人情報は、鍵付の書庫に保管している。全職員に秘密保持誓約書を交わしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		連絡帳や、電話・メール、面談などを活用して、コミュニケーションを取るようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		以前は音楽祭で関係機関への呼び込みを行っていたが、感染症予防や人数制限によりできていないため、今後検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを整備して、定期的に避難訓練などを行なっている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを作成し、定期的に備品の確認や訓練を行なっている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に健康面のアセスメントを行い対応方法を確認している。服薬がある際は保護者からのお薬情報を確認して服用している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時にアレルギーの確認を行い、アレルギーのある児童の情報は掲示して、全職員が確認できるようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、外出支援計画を立てて、安全に配慮している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		お便りなどで、家族に安全計画や取り組み内容についてお伝えする	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で出来事を振り返り、改善方法を検討して実行している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		法人研修や外部研修により虐待について理解し、虐待防止に努めている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		法人で身体拘束のマニュアルを策定し、手順や同意の必要性などを職員に周知している	